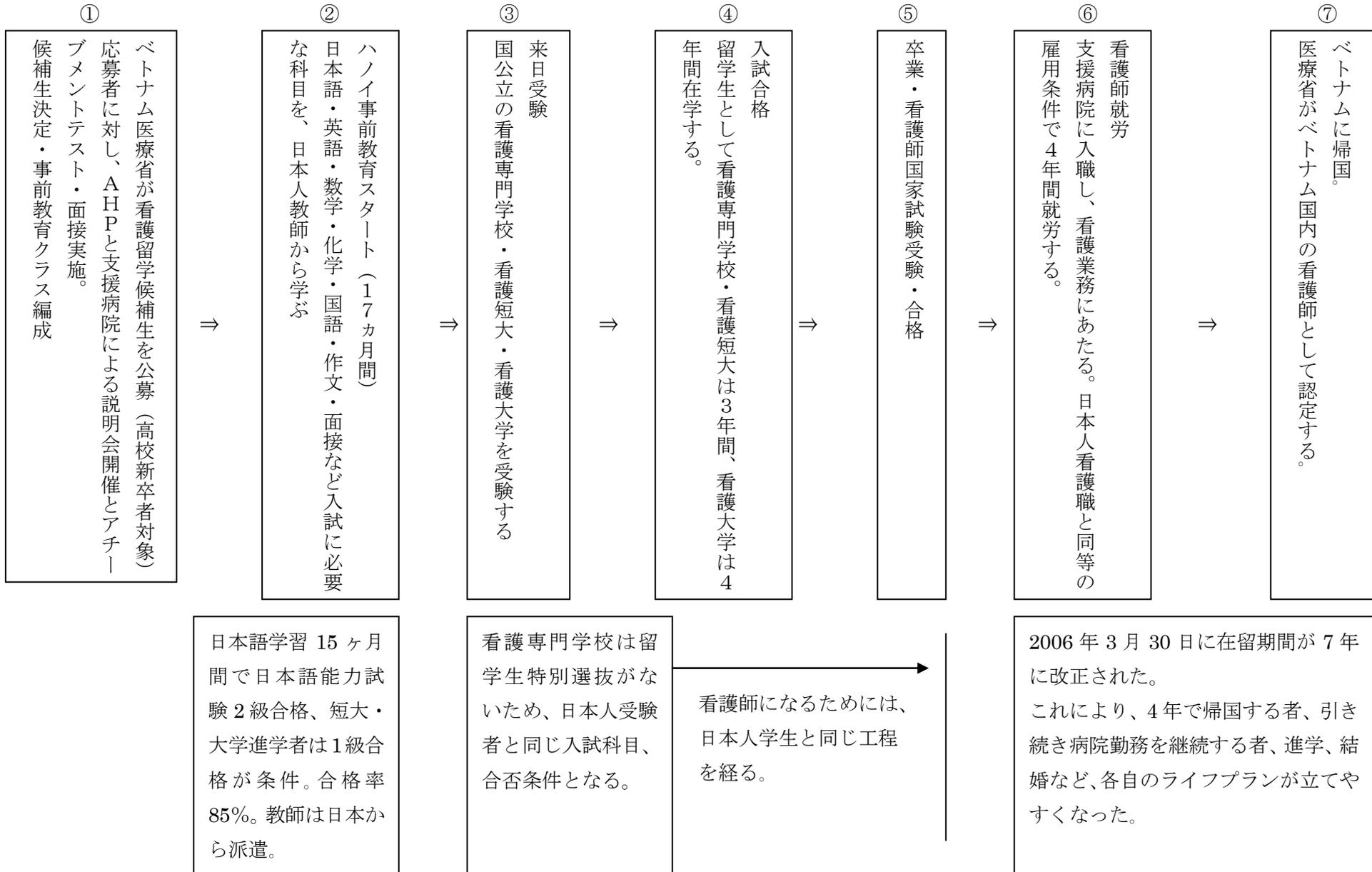


AHPネットワーク【ベトナム人看護師養成支援事業】



「ベトナム人看護師養成支援事業」ハノイ事前教育から日本の看護専門学校等への留学まで

#### A, 【候補生選抜】

- 1, ベトナム医療省が本プログラムインフォメーションをする。
- 2, 医療省がプログラム参加希望者リストを AHP に提出する。
- 3, AHP と支援病院代表、日本語教師がハノイで候補生選抜をする。
- 4, 医療省会議室にて参加希望者と父兄を対象にプログラムを説明し、午後からアチーブメントテストを実施する。またペーパーによる性格判定も行う。終了後に個人面接を行う。すべて数値化したうえで AHP が合格者を選抜する。
- 5, 合格者リストを作成して医療省に提出する。
- 6, 9 月、AHP ハノイ日本語センター授業開始。

#### B, 【事前教育】

##### ■ 第一年度

- 9 月 10 日 : 日本語ゼロ初級から授業開始。午前 4 コマ、午後 3 コマ。1 コマ 60 分。  
12 月中旬 : 日本語能力 (JLPT4) を実施。300 点以下は合格者として足切りとするが、例年不合格者はいない。

##### ■ 第二年度

- 2 月末 : JLPT3 の実力試験を実施し、300 点以下は不合格とする。不合格者が 1・2 名出る時もある。  
日本語能力を早めに見極めることで、学生が大学受験に間に合うようにする。
- 3 月 : 日本語初中級スタート。同時に週 3 日間、午後に英語授業をスタート。  
4 月 : 日本語中級スタート。  
8 月 : 数学・化学の教師が赴任し、午前は日本語、午後は科目授業となる。ここから午後も 4 コマとなる。  
12 月第一日曜日 : JLPT 試験、2 級 or 1 級受験。  
国語科教師が赴任し、受験指導に当たる。
- 12 月中旬 : 5 年間の JLPT 過去問と看護専門学校の過去問を実施し、さらに毎月末の日本語テストと各受験科目の確認テストの成績から渡日者を最終決定する。成績等により日本に行けない学生もでる。  
また各学生の教科特徴から受験校を決め、看護専門学校入学願書作成に入る。

##### ■ 第三年度

- 1月10日 : 受験のために来日する。受験直前勉強はハノイ派遣教師が担当する。ハノイでの事前教育を完成に導き、全員合格をめざす。  
第三週から看護学校受験スタート。ほぼ3月はじめまで続く。一人3~5校を受験する。秋田から広島、四国まで、支援病院近隣の公立看護専門学校を基本とする。
- 2月初め : 国際交流基金より JLPT 結果発表。1996年の第一期生は全員不合格であったが、その後は来日した者は全員合格している。
- 3月中旬 : 来日受験者全員の看護学校合否が確定する。不合格者は帰国する。
- 4月 : 看護専門学校・短大・大学入学式。

以上